

## 目的（なぜ、ペーパー掛けをするのか）

1. 塗装する面にペーパーを使用してキズをつけ、塗装の密着を良くする
2. 塗装する面についているゴミなどを除去する
  - ① 木部では、木材のケバ等を除去
  - ② 鉄部では、サビ・溶接のカス等を除去
3. 塗装する面を平滑にする

## パテのペーパー掛けについて（なぜ、パテの後にペーパー掛けをおこなうのか）

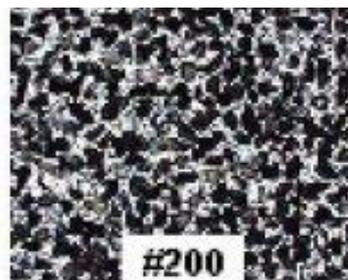
1. パテを施工し乾燥させた後に、より平滑性を持たせる
2. パテを施工した箇所と施工しない箇所の取り合い（差）を平滑にする

※パテのペーパー掛けにおける注意点

- 「なぜパテが必要なのか」を理解し、パテをペーパーで削りすぎない
- パテのペーパー掛けでは研磨した粉が舞うので、マスク・保護メガネを着用する

## ペーパーの種類

- ペーパーの番数について
  - ペーパーは目の粗さにより番数が決まっており、10番～1000番以上までである。  
(番数は1インチ=約2.5cmの中に粒子がいくつ入っているか、の数字。また#180とあれば、180番のペーパーとなる。)
  - 番数が小さいほど目が粗く、大きくなるほど目が細くなる。
  - 現場で主に使用する番号
    - ◇ #40～8 屋根・鉄骨階段等の鉄部で、古い塗膜に浮きやハガレがあり、サビが発生している場合に塗膜の除去、サビの除去に使用
    - ◇ #100～ 塗装する面の古い塗膜を平滑にする場合に使用
    - ◇ #150～ 鉄部の、塗装前の密着を良くするために使用
    - ◇ #180～ パテの研磨に使用
    - ◇ #240～ 木部のクワイヤー塗装（木の目を生かした透明仕上げ）の下地処理に使用



- ペーパーの紙質について
  - ペーパーは目的によって紙質が異なり、使用目的によって主に下記のように使い分ける
    - ◇ 裏が紙 材質が柔らかいので、木部などのペーパー掛けに適している



- ◇ 裏が布 材質が強いため、サビ落としなどに使用する



- ◇ 耐水ペーパー 現場では主にこれを使用。紙製より強度があり、布製より柔らかいため、水に濡れても粒子が溶けないので、「水研ぎ」に使用する。  
 ※「水研ぎ」とは、粒子の粗い塗膜（2液性塗料）やパテ（ポリパテ）にペーパーを掛ける際に、研ぎカスがペーパーの目に詰まる事を解消するために水をつけてペーパーを掛ける事



### ペーパー掛け時の注意点

- ペーパー掛け時には必ず軍手を使用する。なぜか？
  1. ボード面ではビスやタツカが出っ張っている場合がある
  2. 鉄部では切断面が尖っている、あるいは溶接のカスがついている場合がある
  3. 木部ではさかむけやとげが出ている場合がある
- パテのペーパー掛けなどで、平滑の確認が必要な場合、ペーパーを掛ける方の手は軍手を使用し、逆の手は素手で平滑を確認する
- 木部のクイヤー塗装の場合、ペーパーでキズが付くとそのまま残るので、木の目の流れに沿ってペーパーを掛ける

その他、わからないことや疑問点がある場合には、積極的に職長やインストラクターに質問をすること。

以上